

有帆公民館だより

あいほ

<http://www.city.sanyo-onoda.lg.jp>

平成29年10月

NO.39

有帆公民館発行
TEL 84-4090(FAX同)



中学生による太鼓



慰霊祭～岩崎寺住職

慰霊盆踊り・七夕まつり



たくさんの方で暑さを吹き飛ばしました



ちびっ子たちも参加



おめでとう！七夕飾り、会長賞

8月14日(月)の慰霊盆踊り大会、今年
は雨天のため、屋内で開催されたにも関わ
らず、たくさんの方に来ていただきました。
当日は、慰霊祭が終わると七夕表彰式が行
われ、梅田、中村、大休の子ども会と少年
野球チームが表彰されました。

今年は、小さな子どももたくさん参加し
て、老いも若きも汗だくで一緒になって盆
踊り、会場は大変盛り上がりしました。

主催講座のようす

～たのしい夏休みがやってきた♪編～

夏休み期間中、有帆公民館では毎年様々な子ども向けの講座を開催しています。今年も元気いっぱい子どもたちがいろんなことにチャレンジしてくれました。そんな夏の思い出の一部をご紹介します♪また来年の夏休みもたくさんの参加待ってます！



大きな字にも挑戦！
(習字教室)



ラリーの練習中☆
(卓球教室)

夏休みこども教室

今年度は、毎年大人気の習字教室、楽しい手作りおもちゃを作る工作教室に加えて、卓球教室・カローリング教室も開催しました。各教室とも約2時間と短い間でも、さすが子どもたち！習字ではバランスよく文字が書けるようになり、卓球ではラリーが続くようになったりと、上達していく様子が目に見えて分かりました。みんな本当によく頑張りました◎

また、子どもたちのパワーに負けないくらい熱くご指導頂いた先生方、書道クラブ・卓球クラブの皆さん、有帆ふるさとづくり協議会の皆さん、ありがとうございました。



先生教えて～
(工作教室)



ちゃんとのり入るかな？？
(カローリング教室)



夏休み親子ふれあい教室

8月1日(火)、美祢市の森の駅に行ってバームクーヘンとピザ作りに挑戦しました。暑い中の大変な作業でしたが、子どもたちは最後まで全力！みんなで協力して、一生懸命作ったランチの味は格別でした♪

8月4日(金)には、陸上自衛隊山口駐屯地を見学に行きました。近くで見る戦車にはみんな興味津々。資料館で貴重な展示物を見たり、質問をしたり、これまで知らなかった事をたくさん知ることができました◎



竹でバームクーヘン作り！(森の料理体験)



40個の卵に悪戦苦闘中！
(森の料理体験)



最後にみんなでハイチ～ズ♡
(森の料理体験)



戦車を間近で見ました！
(社会科見学)

敬老会開催 ～いつも元気なお年寄り～

9月18日(月)に開催された敬老会には68人の参加があり、高中吹奏楽部演奏や有小児童の作文発表、石井手保育園の余興などで皆さん楽しいひとときを過ごされました。



石井手保育園の和太鼓

今年の有帆校区最高齢者は高野サトさん、107歳です。

ご本人にお会いして、長寿の秘訣を聞くと、しっかりとした口調で、ご飯はいつも自分で食べていると言われ、魚よりも肉の方が好きだそうです。耳は遠いですが、大きな病気もなく、93歳までゲートボールを愉しんでいたそうです。

・・・とにかく、驚くことばかりでした。

話の途中、「これほど、なごう生きるとは・・・」と言われていましたが、高野さんいつまでも元気でいて下さい。



高野サトさん ピ〜ス♡

知っちよる有帆 昔、炭鉱の町だった有帆・・・

昭和63年発行の小野田市史(史料下)によると、大昔、大休の五平太という百姓が、井戸を掘ろうとした時に石炭を発見し、以来その付近から有帆全村を掘り始め、当時の童謡には「有帆の水は涸れても有帆の炭は尽きない」とあるように、有帆は実に炭脈に富んでいたようです。

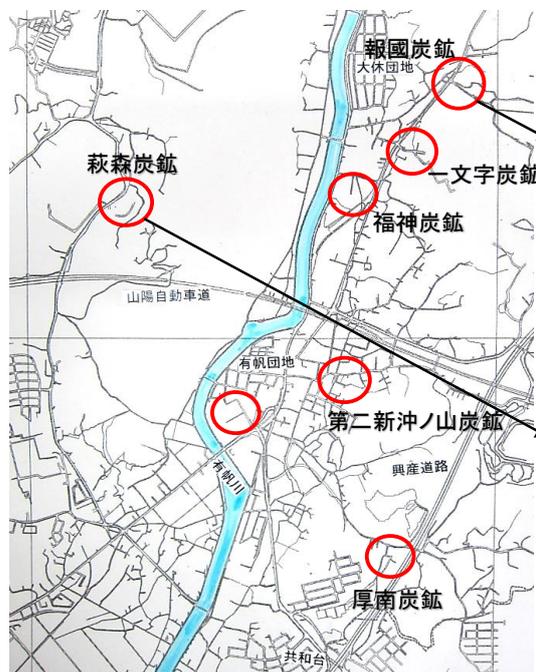
昔から有帆に住む方に炭鉱について聞いてみると、昭和20年代には萩森炭鉱(萩森)、報國炭鉱(大休)、第二新沖ノ山炭鉱(梅田)、一文字炭鉱(中村)、厚南炭鉱(有帆新町、上町)などがあり、また有帆小学校の所にも炭鉱があったそうです。

しかし、時代が流れ、石炭から石油時代になると、炭鉱は一気に衰退し、昭和38年に閉山した萩森炭鉱を最後に全ての炭鉱が姿を消しました。

当時、報國炭鉱に勤めていた大休の岡田友明さん(93歳)に聞くと、炭鉱事務所が現大休自治会長宅付近にあり、昭和33年には保安優良鉱山表彰(通商産業大臣)を受賞したそうです。ご本人は宇部の東神原炭鉱にも勤めて、炭鉱で慰安旅行によく行ったそうです。

また、夫が萩森炭鉱に勤めておられた萩森の村上キミ子さんに聞くと、現在の高千帆苑の場所に炭鉱事務所や運動場、公会堂もあって、当時、萩森には何百人も住んでいて、炭鉱で運動会があったり、公会堂に芝居や楽団も来て、大変賑やかだったそうです。

その頃の有帆小学校児童数は、昭和33年が一番多く、現在の4.5倍を超える783人いたと聞いてびっくりです。おそらく、当時はたくさんの子供が外でわいわい遊んでいたのでは、そんな時代がまた来て欲しいものです。



炭鉱があったと言われる場所



保安優良鉱山表彰受賞の報國炭鉱 (岡田さん提供)



昭和30年頃の萩森炭鉱(村上さん提供)

行事予定

【10月～12月】

1,723世帯 人口 3,937人
男 1,897人 女 2,040人
(9月1日現在)

10月

- 2日(月) 歴史探訪館外講座(中津・宇佐)
- 4日(水) 子育て応援セミナー①(子育て支援・教育プラン)
- 6日(金) 物づくり体験教室～大人の挑戦③「ガラス細工」
- 7日(土) 土曜料理教室
- 10日(火) 知って得する講座(二胡～安らぎの世界へ)
- 13日(金) 男性料理教室
- 17日(火) 子育て応援セミナー②(ボディメンテナンス)
- 21日(土) 有帆地区防災訓練(地域・小学校合同)
- 31日(火) 子育て応援セミナー③(アンガー・マネージメント)



11月



- 2日(木) 第1回会食会～地区社協
- 6日(月) 松の剪定教室
- 10日(金) 男性料理教室
- 11日(土) 公民館・小学校学習フェスタ
- 14日(火) 知って得する講座(心と身体の健康法)

12月

- 2日(土) 土曜料理教室
- 8日(金) 男性料理教室
- 12日(火) 知って得する講座(介護する人！される人！)
- 23日(祝) ふれあいまつり



有帆川清掃・鯉の放流



杵築地区で除草作業

9月3日(日)「有帆川をきれいにする会」による有帆川清掃と鯉の放流が行われました。

当日、地域住民と有帆小児童約400人が集まり、岩崎寺から第1高干帆橋までの除草作業を、中村橋周辺ではゴミ収集を行い、またホテル公園も親子でカニ取りやゴミ拾いできれいになりました。皆さんお疲れ様でした。

最後は岩崎寺と中村橋の所で子どもたちが、はしゃぎながら鯉を放流しました。



岩崎寺前で鯉の放流

★編集後記

退職して9年余の歳月が流れたが、今も充実した幸せな毎日が送れている。

そこには、有帆公民館の存在が大きな役割を果たしている。公民館での各種講座やふるさと行事に参加する中で、多くの友と出会い、公民館を中心として楽しい時間を共有する事が出来たことは、公民館職員の日頃の努力と積極的な企画、そして気負いもなく参加できる気配りのおかげだと思っている。

しかし、こうした公民館の良さも多くの人に伝わらなければ、何の意味もない。

私が公民館だより編集委員になったのも「学びの場、交流の場」として公民館の魅力を少しでも多くの方に知ってもらい、足を運んでももらいたい、そんな思いからだ。どうですか、ちゃんと伝わっているでしょうか？ まずは公民館デビューを!!

(編集委員 安藤一)